

第 15 期日本学術会議会員

本会より推薦いたしました第 15 期日本学術会議会員候補者 2 名は、平成 3 年 7 月 22 日に任命されたのでご報告いたします。

増子 昇（東京大学生産技術研究所 教授）

佐伯 修（㈱神戸製鋼所 顧問役）

● 鉄鋼研究振興資金の募金結果と募金期間継続について ●

昨年来標記「鉄鋼研究振興資金」の募金をして参りました結果、5 月末日現在総額 5 億 4 350 万円に達しました。これは鉄鋼関係各社のご理解の賜と感謝申し上げます。

本会では、平成 4 年度から事業実施を予定し、鉄鋼研究振興資金選考委員会（委員長：北村卓夫・新日本製鉄副社長）を設け、事業目的である「大学における鉄鋼研究の活性化の支援、鉄鋼研究者の育成」のため、鉄鋼に係わる基礎・基盤的研究テーマの募集に入りました。平成 4 年 4 月から研究助成金の交付が可能なることから既に大学側研究者からは大きな反応と期待が寄せられています。

本会といたしましては、大学側研究者および鉄鋼関係各位の双方のご期待にお応えできますよう、全力を挙げて努力いたす所存であります。

つきましては、更に本資金の充実を図りたく募金期間を継続し新規または追加のお申込みを随時受け付けることといたしましたので、ご応募をお待ち申し上げます。

会議ダイジェスト**編集委員会****・第 4 回編集委員会**

開催日：7 月 19 日

出席者：佐野委員長、ほか 14 名。

1. 協会事業特別検討委員会で検討された編集委員会関連事項について報告された。

2. 第 122 回秋季講演大会に関し、総講演件数 (929)、プログラム作成作業の合理化について報告された。

3. 和文・欧文会誌分科会の本年 9 月以降の組織と運営方法について提案通り承認された。今後は実務担当の部門幹事からなる分科会と、主として査読を担当する専門委員の二重構成となり、全体会議数は年数回となる。

4. 編集委員会及び分科会委員の委嘱・解嘱案が報告され承認された。

5. 平成 3 年度俵・澤村論文賞選考結果が報告され承認された。

6. 「鉄と鋼」投稿論文の英文 Synopsis 校閲について今後和文会誌分科会で検討することとなった。

7. 「耐熱鋼の高温クリープ及びクリープ疲労損傷材のレプリカ法による非破壊的損傷量/寿命評価」の出版企画が承認された。

8. 大学におけるネットワーク利用について報告された。

・第 5 回和文会誌分科会

開催日：7 月 5 日

出席者：木原主査ほか、28 名。

1. 18 件の論文審査報告がなされ、掲載決定 9 件、照会后掲載可 4 件、その他 5 件であった。

2. 「鉄と鋼」第 77 年第 11 号 (11 月号) 「分析評価・解析」特集号の目次が報告された。

3. 解説等 4 件の執筆依頼を決定した。

・第 4 回欧文会誌分科会

開催日：6 月 27 日

出席者：菊池主査ほか、12 名。

1. ISIJ International, Vol. 31 (1991), No. 9 に Regular article 13 件の掲載を決定した。

2. 16 件の原稿につき審査報告がなされ、掲載可 4 件、照会后掲載可 2 件、修正依頼 9 件、返却 1 件であった。

3. 10 月から実施予定の会議開催形式について協議・検討が行われた。

・第 3 回俵論文賞選考小委員会

開催日：6 月 28 日

出席者：雀部小委員長ほか、20 名。

候補論文 22 件の二次評価投票結果をもとに、5 分野各上位 3 位を決定し、小委員会としては各分野の 1 位を論文賞

候補として編集委員会に推すこととした。

・第 3 回澤村論文賞選考小委員会

開催日：7 月 9 日

出席者：菊池小委員長ほか、9 名。

平成 3 年度澤村論文賞候補論文 10 件の第 2 次評価結果を基に、1 位から 5 位を決定し、編集委員会の審議に委ねることとした。選考小委員会としては、上位 3 位を受賞候補に推すことが決定した。

育成委員会**・育成委員会第 2 回準備会**

開催日：7 月 2 日

出席者：牛山委員長ほか、6 名。

育成委員会の活動方針ならびに委員会構成案がまとめられ、委員会として発足することが決定し、準備会を終了した。

研究委員会**・第 2 回研究委員会**

開催日：7 月 17 日

出席者：山口委員長ほか、18 名。

1. 前回議事録確認
2. 研究委員の構成について
3. 科研費研究分科会および金属関係学協会連絡委員について
4. 石原・浅田研究助成金交付について